

総務文教分科会委員長報告

R7.9.19

総務文教分科会に付託されました、令和6年度一般会計、曾我部山林事業特別会計及び各財産区特別会計の決算認定について、審査の経過概要と、その結果を報告いたします。

本分科会は、去る9月12日、16日、17日、18日の4日間にわたり、各担当部課長等の出席を求め、書類審査を行い、予算執行が議決どおり適切かつ効率的に行われたか、また、限られた財源の中で、市民が期待する、行政効果が上げられたか等に主眼をおき、決算書及び主要施策報告書、関係書類等をもとに、監査委員の決算審査意見書をも十分参考にして、慎重に審査を行いました。

また、事務事業評価として4つの事業を選定し、事業の必要性、妥当性、効率性、費用対効果や成果を主眼に、事業の細部に渡って入念な審査を実施し、今後の方向性について評価を行ったものであります。

それでは、まず、第14号議案、令和6年度一般会計決算の本分科会所管分についてであります。

令和6年度一般会計予算は、健全な財政運営を維持しつつ、「主役は市民一人ひとり」のまちづくりを進めていくための予算として、対前年度比9.1%の増額予算が編成されたものであります。

決算審査の結果、歳入面では、市税につきましては、8年連続で100億円を維持し、京都・亀岡ふるさと力向上寄附金が、43億円を超えたことやそれぞれの事業における特定財源の確保などにより、できる限りの収入確保に努められました。

また、歳出面でも、生活環境の変化や多様化する市民ニーズに的確に対応するとともに、市民福祉の増進とさらなるまちの魅力向上に向け、市民にとって真^{しん}に重要かつ優先度の高い事業を進めるとともに、市民福祉の増進に向けた事務事業の執行に努められました。

その結果、実質収支は、10億6,167万7,712円となり、実質単年度収支は、6年連続の黒字額となっています。

今後も、市税等の限られた財源を有効に活用しながら、事業の取捨選択を行い、あらゆる方面から財源確保に向けての努力を願い、財政健全化を望むものであります。

次に、歳出面での具体的な執行状況について、令和6年度一般会計決算の本分科会所管分歳出は、議会費、総務費、民生費、消防費、教育費、公債費^{こうさいひ}に及んでおります。

その主な内容は、

- ・ デジタル広告を配信し、ターゲットを絞った効果的な情報発信と効果測定モデルを構築した取組
- ・ 姉妹都市スティルウォーター市とクニッテルフェルト市へ市内中学生を派遣することによる、未来を担う世代の国際意識向上の取組
- ・ 石田梅岩を顕彰するとともに市民の生涯学習の実践活動や地域の賑わい創出に寄与する石田梅岩記念館の完成。
- ・ 生涯学習の拠点施設であるギャラリーかめおかの適正な管理と施設の長寿命化対策の実施
- ・ 新資料館の整備に向けて「亀岡市博物館整備基本計画」の策定
- ・ スカイスポーツの振興をとおした、まちの魅力発信として、京都・亀岡バルーンフェスティバルの開催

- ・ いじめ防止対策を推進していくため、問題が深刻化する前に学校が迅速かつ適切に対応できる体制を構築するため、スクールロイヤーの設置。
- ・ 小学校での亀岡への郷土愛や環境に対する心を育むエコラフティング事業の取組
- ・ 中学校での保津川環境学習・保津川下り体験乗船事業の取組
- ・ かめおか児童クラブでは、児童の良好な保育環境を確保するため、夏季休業期間開設教室の増設、学校夏季休業期間におけるデリバリー弁当の斡旋や山間地かめおか児童クラブ利用児童のためのスクールバスの運行など、保護者負担軽減への取組

などであります。

採決に先立ち、人権啓発費、学校給食基本計画策定業務など予算審査時で反対し、指摘した項目が改善されたとは認められないとの反対討論があり、

一方、学校給食基本計画では十分調査した結果であること、実現可能性を求める調査費用であるため賛成すること、全体的に見渡して当初予算を編成したときの目的と事業内容が適正に事業展開がなされ、予算執行もなされたと認定する、との賛成討論がありました。

採決の結果は、賛成多数をもって認定すべきものと決定しました。

なお、市職員の健康管理について、精神面で療養を必要とする職員数が増えている現状を心配する意見がありました。

次に、第14号議案、曾我部山林事業特別会計の決算であります。適正に執行されており、採決の結果は、全員をもって認定すべきものと決定しました。

次に、第18号議案から第47号議案までの、亀岡財産区ほか29財産区特別会計決算であります。山林等の管理に要する財産管理経費等の執行は適正であり、採決の結果は、全30財産区特別会計いずれも全員をもって認定すべきものと決定しました。

以上、簡単であります。本分科会の報告といたします。

総務文教分科会委員長報告

R7.9.19

総務文教分科会に付託されました、令和6年度一般会計、曾我部山林事業特別会計及び各財産区特別会計の決算認定について、審査の経過概要と、その結果を報告いたします。

本分科会は、去る9月12日、16日、17日、18日の4日間にわたり、各担当部課長等の出席を求め、書類審査を行い、予算執行が議決どおり適切かつ効率的に行われたか、また、限られた財源の中で、市民が期待する、行政効果が上げられたか等に主眼をおき、決算書及び主要施策報告書、関係書類等をもとに、監査委員の決算審査意見書をも十分参考にして、慎重に審査を行いました。

また、事務事業評価として4つの事業を選定し、事業の必要性、妥当性、効率性、費用対効果や成果を主眼に、事業の細部に渡って入念な審査を実施し、今後の方向性について評価を行ったものであります。

それでは、まず、第14号議案、令和6年度一般会計決算の本分科会所管分についてであります。

令和6年度一般会計予算は、健全な財政運営を維持しつつ、「主役は市民一人ひとり」のまちづくりを進めていくための予算として、対前年度比9.1%の増額予算が編成されたものであります。

決算審査の結果、歳入面では、市税につきましては、8年連続で100億円を維持し、京都・亀岡ふるさと力向上寄附金が、43億円を超えたことやそれぞれの事業における特定財源の確保などにより、できる限りの収入確保に努められました。

また、歳出面でも、生活環境の変化や多様化する市民ニーズに的確に対応するとともに、市民福祉の増進とさらなるまちの魅力向上に向け、市民にとって真しんに重要かつ優先度の高い事業を進めるとともに、市民福祉の増進に向けた事務事業の執行に努められました。

その結果、実質収支は、10億6,167万7,712円となり、実質単年度収支でも6年連続の黒字となっています。

今後も、市税等の限られた財源を有効に活用しながら、事業の取捨選択を行い、あらゆる方面から財源確保に向けての努力を願い、財政健全化を望むものであります。

次に、歳出面での具体的な執行状況について、令和6年度一般会計決算の本分科会所管分歳出は、議会費、総務費、民生費、消防費、教育費、公債費こうさいひに及んでおります。

その主な内容は、

- ・ デジタル広告を配信し、ターゲットを絞った効果的な情報発信と効果測定モデルの構築
- ・ 未来を担う世代の国際意識向上のため、姉妹都市スティルウォーター市とクニッテルフェルト市との市内中学生の国際交流
- ・ 石田梅岩を顕彰するとともに市民の生涯学習の実践活動や地域の賑わい創出に寄与する石田梅岩記念館の完成。
- ・ 生涯学習の拠点施設であるギャラリーかめおかの適正な管理と施設の長寿命化対策の実施
- ・ 新資料館の整備に向けて「亀岡市博物館整備基本計画」の策定
- ・ スカイスポーツの振興をとおした、まちの魅力発信として、京都・亀岡バルーンフェスティバルの開催
- ・ いじめ防止対策を推進していくため、問題が深刻化する前に学校

が迅速かつ適切に対応できる体制を構築するため、スクールロイヤラーの設置。

- ・ 亀岡への郷土愛や環境に対する心を育む取組として、小学校でのエコラフティング事業、中学校での保津川下り体験乗船事業の実施
- ・ かめおか児童クラブでは、児童の良好な保育環境を確保するため、夏季休業期間における教室の増設、デリバリー弁当の斡旋や山間地でのスクールバスの運行など、保護者負担軽減への取組

などであります。

採決に先立ち、人権啓発費、学校給食基本計画策定業務等、予算審査時に指摘した項目が改善されたとは認められないとの反対討論がありました。

一方、学校給食基本計画では十分調査した結果であること、実現可能性を求める調査費用であるため賛成すること、また、全体的に見渡して当初予算を編成したときの目的どおりに事業展開がなされ、適正な予算執行であったと認定する、との賛成討論がありました。

採決の結果は、賛成多数をもって認定すべきものと決定しました。

なお、市職員の健康管理について、精神面で療養を必要とする職員数が増えている現状を心配する意見がありました。

次に、第14号議案、曾我部山林事業特別会計の決算であります。適正に執行されており、採決の結果は、全員をもって認定すべきものと決定しました。

次に、第18号議案から第47号議案までの、亀岡財産区ほか

29 財産区特別会計決算であります。山林等の管理に要する財産管理経費等の執行は適正であり、採決の結果は、全30財産区特別会計いずれも全員をもって認定すべきものと決定しました。

以上、簡単であります。本分科会の報告といたします。

≪総務文教分科会≫ 令和7年9月決算特別委員会 事務事業評価結果

(変更前)

番号	事業名	評価	意見等
1	ふるさと力向上経費	1 拡充	<p>○返礼品については、さらに戦略性を持って安定供給できる返礼品開発と経費対策に努められたい。</p> <p>○ふるさと納税事務の経験を積み重ね、制度を熟知した専属職員の確保や配置と強固な組織体制づくりに努められたい。</p> <p>○広報プロモーション課やふるさと商社（産品開発）と連携し、さらなる成果を上げられたい。</p>
2	コミュニティ推進経費 (市政協力業務委託料)	2 現状維持	<p>○業務委託である以上、透明性を図る意味でも業務の目的、内容、金額等を全ての住民が理解できるよう、市として各自治会が説明責任を果たされるよう働きかけられたい。</p> <p>○地域コミュニティの醸成を図る意味でも、さらに自治会と連携を強め、自治会加入が増えるよう、コミュニティ推進に努められたい。</p>
3	かめおか児童クラブ運営経費	1 拡充	<p>○支援員の確保や人材育成（研修）を含め、さらに学校と家庭との連携や民間力の導入による質の高い保育環境の維持に努められたい。</p> <p>○アンケートの定期的な実施をはじめ、常に保護者や児童生徒の声を拾い上げ、ニーズに合わせた安全・安心な子ども居場所づくりを進められたい。</p>
4	二十歳式典経費	3 見直しの上継続	<p>○実行委員会が主体的に取り組む形式を大切に、今後も継続されたい。</p> <p>○会場選びや時間帯の再考も含め、今の亀岡や時代のニーズにあったものへと昇華させることで可能性の幅を広げられたい。</p>

《総務文教分科会》 令和7年9月決算特別委員会 事務事業評価結果

(変更後)

番号	事業名	評価	意見等
1	ふるさと力向上経費	1 拡充	<p>○戦略性を持って安定供給できる返礼品開発と経費等の対策に努められたい。</p> <p>○ふるさと納税事務の経験を積み重ね、制度を熟知した専属職員の確保や配置と強固な組織体制づくりに努められたい。</p> <p>○広報プロモーション課やふるさと商社（産品開発）と連携し、さらなる成果を上げられたい。</p>
2	コミュニティ推進経費 (市政協力業務委託料)	2 現状維持	<p>○業務委託である以上、透明性を図る意味でも業務の目的、内容、金額等について、各自治会が住民に説明責任を果たされるよう、市として働きかけられたい。</p> <p>○地域コミュニティの醸成を図る意味でも、さらに自治会と連携を強め、自治会加入が増えるよう、コミュニティ推進に努められたい。</p>
3	かめおか児童クラブ運営経費	1 拡充	<p>○支援員の確保や人材育成（研修）、さらなる学校や家庭との連携、民間力の活用も含め、保育環境の充実に努められたい。</p> <p>○アンケートの定期的な実施をはじめ、常に保護者や児童生徒の声を拾い上げ、ニーズに合わせた安全・安心な子ども居場所づくりを進められたい。</p>
4	二十歳式典経費	3 見直しの上継続	<p>○実行委員会が主体的に取り組む形式を大切に、今後も継続されたい。</p> <p>○会場選びや時間帯の再考も含め、今の亀岡や時代のニーズにあったものへと可能性の幅を広げられたい。</p>